

新型コロナウイルスの ワクチン接種について

令和3年7月21日
ポルテックスセイゲン
健康管理室 佐藤

今月は、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。
新型コロナウイルスは人々の生活を変化させ、大きな影響を与えてきました。
最近では感染力や入院リスクが従来のものより高い変異株も広まり、警戒が強まっています。
早期に収束することが望まれていますが、その鍵となるのがワクチン接種となります。

【新型コロナウイルスワクチンの効果】

- ・発症を予防
- ・重症化を防ぐ
- ・感染を防ぐ



- ・**高い発症予防効果**が確認されています。
- ・発症による受診や重症化による入院が減ることで、**医療の逼迫を防ぎます。**
- ・新型コロナウイルスにかかり、**辛い思いをしたり、後遺症が残る事**を防ぐ事が出来ます。
- ・感染したとしても、排出するウイルスの量が少なくなる・排出期間が短くなるため**感染を広げるリスクが減少**します。
- ・感染しにくくなることで、**家族やまわりの人が感染**することを防ぎます。



ワクチンの安全性について (出典：厚生労働省HP新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識)

接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛などが接種した人の50%以上、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱などが10%以上に見られると報告されています。

こうした症状の大部分は数日以内に回復しています。

また、接種後にアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生したことが報告されています。もしアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、予防接種の接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。

新型コロナウイルスワクチンQ & A

一部「厚生労働省 新型コロナワクチンQ & A」参照

Q1：ワクチンを打ったら、マスク無しでOK？

A1：ワクチン接種後も、マスクを着用し、感染予防対策を継続する必要があります。

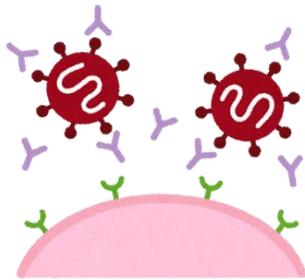
【理由】①ワクチン接種による高い発症予防効果（感染しても、症状が出るのをおさえる）や重症化予防効果は認められており、最近では感染予防効果（感染そのものを防ぐ）もあることが分かっていますが、100%ではありません。

②ワクチンの効果がどのくらい持続するかが現時点では未定。



Q2 : ファイザー・モデルナの、mRNA ワクチンってどのようなもの？

A2 : mRNA (メッセンジャーRNA) ワクチンは、生きたウイルスは入っていません。ウイルス表面のトゲトゲした突起の部分 (スパイク蛋白) を作るための設計図・遺伝情報を体内に接種します。この設計図を元に体内で作られたスパイク蛋白に対する抗体が作られる事により、免疫を持つ事が出来ます。



それによって人間の遺伝子の情報に変化が加わることもありません。また、mRNA は接種後数日以内に分解され、作られるスパイク蛋白も接種後 2 週間ではなくなると言われています。こうした mRNA ワクチンの機序からは、接種後 1 年以上が経ってからの副反応は想定されていません。



Q3 : 他のワクチンとの間隔はどのくらいあれば良いのですか？

A3 : 新型コロナワクチンを接種する場合、その前後に他のワクチンを接種する場合は 2 週間あける必要があります。



麻疹などの生ワクチン接種後でも同様に、2 週間あければ接種可能となります。

Q4 : ワクチンを受けた後に熱が出たら、どうすれば良いですか？

A4 : ワクチンによる発熱は接種後 1~2 日以内に起こることが多く、必要な場合は解熱鎮痛剤を服用するなどして、様子を見ていただくことになります。

ワクチンを受けた後、2 日間以上熱が続く場合や、症状が重い場合、ワクチンでは起こりにくい症状 (咳・咽頭痛・味覚障害・息切れなど) がみられる場合には、医療機関等への受診や相談をご検討ください。



新型コロナウイルスワクチン接種におけるボルテックスグループの対応

※今回のワクチン接種は、新型コロナウイルスの感染拡大防止、従業員、家族そして関係する全ての皆様の安全・安心の確保のため、**できる限りの接種**を推奨致します。

(令和 3 年 6 月 7 日付の人事部発令の新型コロナウイルスワクチン接種時の勤怠取扱いもご参照ください)
事業者側からすれば、事業所内の**安全配慮義務**に関わる上、**対外的な信用**にもつながります。



仕事をしながらも出来るだけ安心して接種時間を確保出来るように配慮しています。

接種時の勤怠取扱い

- ・接種時間は就業時間内で OK (出勤扱い)
- ・付き添いが必要な家族が接種する場合は従業員の付き添いを認め、その時間を出勤扱い (就業免除) とする。
- ・ワクチン接種による副反応時は、特別休暇 (有給) 取得可能
- ・家族に副反応が発生し、従業員の看護が必要な場合、特別休暇 (有給) 取得可能

引き続きの感染予防対策が必要となります。ご協力お願いいたします。